



F★グループ ジョイント コンサート

*group
joint concert*

2007. 9. 24 (月・祝) 2:00 p.m. フェリスホール

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会
後援 フェリス女学院大学音楽学部

芸術の深遠さは、地球上の自然と同じように人間にとって解明されにくい不思議な世界です。ひとが存在して初めてその価値が認識される、そこには自然のなすわざの不可思議が潜んでいるからでしょう。

ところで5次元の世界の存在が物理的に証明がされるかもしれないのだそうです。3次元までは私達も直感的に分かりますが…。3次元から消失する粒子が実証されればその行き先が5次元だとのこと。見えないところだけれども、私達のすぐまわりにおいて、でも触れることも行くこともできない空間だそうで…。

今日の演奏もまた、次元を超えて私達の感性を揺さぶる、素晴らしくても見えない「なにか」が空間を漂えば嬉しいことです。

フェリス女学院大学音楽学部長 **久保 浩**

今年もまた、Fグループ主催のジョイントコンサートの季節となりました。

本日はお忙しい中、ご来場下さいまして誠にありがとうございます。

在学中は、先生方からたくさんの音楽教育を受けましたが、卒業した瞬間から自分で音楽の道を究めていかなければなりません。

卒業をされた後も研鑽を積んでこられた皆様に、より多くの演奏の場を作るお手伝いをするのが、私達Fグループの役目だと思っております。

今日ご出演の皆様の演奏がフェリスホールに響きわたるのをお楽しみいただけましたら大変に嬉しく思います。

そして、今後ともご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Fグループ副会長 **森 康子**

プログラム

ソプラノ独唱 堀部敦子 (56回生)

ピアノ 柏木晶子 (56回生)

G. ヴェルディ：オペラ「リゴレット」より
ジルダのアリア“慕わしい人の名は”

ヴァイオリン独奏 梅田みお (56回生)

ピアノ 佐藤亜里沙 (56回生)

C. サン＝サーンス：ハバネラ 作品83

M. ラヴェル：ツィガーヌ

(ヴァイオリンとピアノのための演奏会用狂詩曲)

ピアノ独奏 川村よしみ (38回生)

F. ショパン：ポロネーズ 第4番 ハ短調 作品40-2

3つのマズルカ 作品50-1、2、3

< 休憩 >

ピアノ独奏 小野 いずみ (51回生)

クララ、シューマン：スケルツォ 第2番 ハ短調 作品14

F. ショパン：ポロネーズ 第7番 変イ長調

「幻想ポロネーズ」作品61

ソプラノ独唱 池田 まゆ子 (54回生・院8回生)

ピアノ 尾藤 万希子 (51回生)

山田 耕 筈：「AIYANの歌」

“NOSKAI” “かきつばた” “AIYANの歌”

“曼珠沙華” “気まぐれ”

G. プッチーニ：オペラ「ラ・ボエーム」より

ムゼッタのアリア “私が町を歩くとき”

ピアノ独奏 大橋 雅子 (43回生)

J.S. バッハ/S. ラフマニノフ編曲：

ヴァイオリンのためのパルティータ ホ長調より

“ガボット”

S. ラフマニノフ：ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 作品36

(1931年版)



堀部 敦子 (56回生)

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業。卒業時、三宅賞受賞。声楽を林廣子、辻宥子、堀部隆二、雨谷善之の各氏に師事。在学中、「オーケストラ協演の夕べ」「卒業記念演奏会」に出演。第77回読売新人演奏会、第78回横浜新人演奏会に出演。現在、社会福祉法人伸こう福祉会音楽スタッフ。

三月に大学を卒業してから、保育園でリトミックや音楽を教えたり、介護施設で歌ったりピアノを演奏しながら、少しずつ声楽の勉強も続けています。社会に出てみると、要求される音楽は大学で学んだことのないジャンルがとても多く、在学中よりも音楽の幅が広がり、様々な音楽の魅力にも気づかされました。これからも大好きな歌と共にステップアップしていきます。

柏木 晶子 (56回生)

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻1年在学中。



梅田 みお (56回生)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。在学中に、大学主催の「室内楽の夕べ」「オーケストラ協演の夕べ」、オレグ・クリサ氏ヴァイオリン公開レッスン等に出演。これまでに、小林すぎ野、名倉淑子の各氏に師事する。現在フェリス女学院大学音楽学部ディプロマコースに在籍、またフェリス女学院大学音楽学部非常勤副手。

2曲とも雰囲気全く違う、美しい曲です。異なる美しさを持った2曲の楽しさが、聴いて下さる方に少しでも多く伝われば幸いです。このような機会を与えて下さった諸先生方に感謝いたします。

佐藤亜里紗 (56回生)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。在学中に、大学主催の「室内楽の夕べ」「オーケストラ協演の夕べ」「卒業記念演奏会」等に出演。第78回横浜新人演奏会、大倉山水曜コンサート第20回新人演奏会に出演。これまでに、児玉恵子、須田真美子、(故)藤本爽子の各氏に師事する。現在フェリス女学院大学音楽学部ディプロマコースに在籍。フェリス音楽教室ソルフェージュ科講師。



川村 よしみ (38回生)

フェリス女学院短期大学音楽科、同研究科卒業。ウイーン及びルツェルンマスタークラス修了。「モーツァルトコンテスト選抜演奏会」「ショパン没後150周年記念演奏会」パリにてオーケストラ・ラジオフランスとの「日仏交流演奏会」「オーバーストドルフ音楽祭」スイスにてリサイタル、二度オーケストラと共演等の演奏歴をもつ。フランス音楽コンクール入選。辛島仔緒子、M・クリスト、K・エルザー、M・ホルショフスキー、M・フレーガーに師事。フェリス音楽教室ピアノ講師。

「ショパンの物語はポロネーズに始まりマズルカで終わる」とA・ヘドリーは語っています。愛する祖国ポーランド的要素がこれ程色濃く表れている作品は他にはないでしょう。ショパンは民族的な舞曲に彼ならではの気品、心に染み入る美しさ、力強さを与えました。マズルカは50曲以上作られ、いわば彼の日記とも言えます。様々な彼の心模様を皆様を感じとって頂ければ幸いです。



小野いずみ (51回生)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。新宿区主催フレッシュコンサートや大倉山記念館新人演奏会など多数の演奏会に出演。その後渡独、コープレンツ大学音楽学部で学び、2006年よりザールブリュッケン音楽大学にて専属伴奏ピアニストとして勤務。堀由紀子、宗施月子、Thomas Duis、Fedele Antonicelliの各氏に師事。

Scherzoは私にとって初めての女性作曲家の曲です。女性らしいしなやかさがありつつも芯があり、力強いこの曲を自分なりに表現したいと思います。今日はすべての曲を心を込めて演奏させていただきます。



池田まゆ子 (54回生・院8回生)

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。声楽を蔵田雅之、長谷川久恵、花澤利枝子の各氏に師事。

この度は憧れのFグループジョイントコンサートの舞台に立たせて頂けることとなり、大変光栄に思っております。フェリスという素敵な学校の素晴らしい環境で、大学と大学院の6年間も学ばせて頂けた事を、とても誇らしく思っております。その誇りを胸に、これからも精進して参りたいと思います。本日は楽しんで頂けるよう、精一杯頑張ります。

尾藤万希子 (51回生)

京都市立堀川高等学校音楽科卒業。フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業、同大学院音楽研究科修士課程・研究生修了。ピアノを藤田鈴、和子・M・ザイラー、E・F・ザイラー、馬場和世、高良芳枝、長谷川さち子、堀由紀子の各氏に、室内楽・伴奏法を立神粧子氏に師事。



大橋 雅子 (43回生)

フェリス女学院大学音楽学部首席卒業、故塚原瑛子氏、宇野紀子氏に師事。ドイツ・デトモルト、スイス・チューリヒ各音大大学院最優秀修了、ドイツ国家演奏家資格、スイス国ソリストディプロマ取得。イタリア・パドヴァ市国際コンクール優勝、ドゥットヴァイラーバイオリンコンクール最優秀伴奏者賞等。

欧州各地の音楽祭、ドイツ西部放送(WDR)、スイス国立チューリッヒ音楽大学オーケストラ、ジュネーブ・ラジオスイスロマンド、ジュネーブ日本国総領事館等で演奏、各地の新聞に絶賛される。北西ドイツフィルハーモニー、スイス・ウィンタートゥア市立交響楽団と共演。文化庁芸術家在外研修員。毎年スイス・レンク夏期アカデミー、ドイツ・フィアゼンの夏音楽祭の公式ピアニスト。ウィーンフィルメンバー(シュトイデSQ、ディーター・フルーリー首席fl)、天満敦子等と共演。デトモルト音大助手、チューリヒ音大講師を経て現在東京芸術大学弦楽器科、尚美学園大学、東京成徳短大非常勤講師。

懐かしい母校での演奏、楽しみです。

